令和４年度　技術・家庭科（技術分野）　授業改善推進プラン

大田区立大森第四中学校

１　昨年度の授業改善推進プランの検証

（１）成果

・ものづくりにおいて、主体的な学習に取り組む態度を養うため、電子黒板を使用し、画像や動画で視覚的に分かりやすい授業を展開できた。

・ものづくりの実習において、ほとんどの生徒は主体的に進んで取り組んだ。作業を分かりやすくさせるため、作業工程を動画で説明し、生徒が確認できるようにした。また実際に工具を使う機会を増やし、実践を通して使い方を習得させ、技能を高めることができた。

（２）課題

・ものづくりで学んだ知識を日常生活に生かせるように、指導を今後も継続させていく必要がある。実践的、体験的な学習を重視した授業を行うことで、基礎的・基本的な技術の習得を目指すことが重要である。そこから、思考・判断・表現を基にした主体的、対話的な深い学びにつなげていく。

・生徒各自に貸与されたパソコン（Chromebook）のさらなる活用を模索していく。

２授業改善のポイント

（１）知識・技能

・ものづくりやコンピュータの作業方法など、必要な知識の定着を、定期考査で評価する。

・ものづくりやコンピュータの技能を向上させるために、基礎・基本を徹底させ、技能向上を実感させながら得させる。正しく、安全に作業できるよう課題を設定し、作業ごとに評価する。

（２）思考・判断・表現

・作品製作では、各自の創意工夫が表現できる課題を設定する。課題に応じて各自の創意工夫を評価する。

・各領域の各課題を、生徒各自がGoogle Classroomにアップすることにより提出させる。パソコンの利用促進を図る。

・表現では、基礎的・基本的な知識・技能を活用しつつ，他教科の横断的な知識を基に、生徒の説明・論述・討論などの言語活動等を通じて対話的な学びの構築に努める。

（３）主体的に学習に取り組む態度

・実生活の具体的な例を基に、作業の安全を充分に考慮して、各領域についての興味・関心をもたせる。その知識や実習の習得を図ることにより、より良い実生活の想像や摸索を行う。そうした主体的な学習に取り組む態度を養う。また、授業内容を振り返らせるため、まとめをしっかり行い、工具の使い方など動画で分かりやすく説明するなど、パソコン等の視覚教材を活用する。